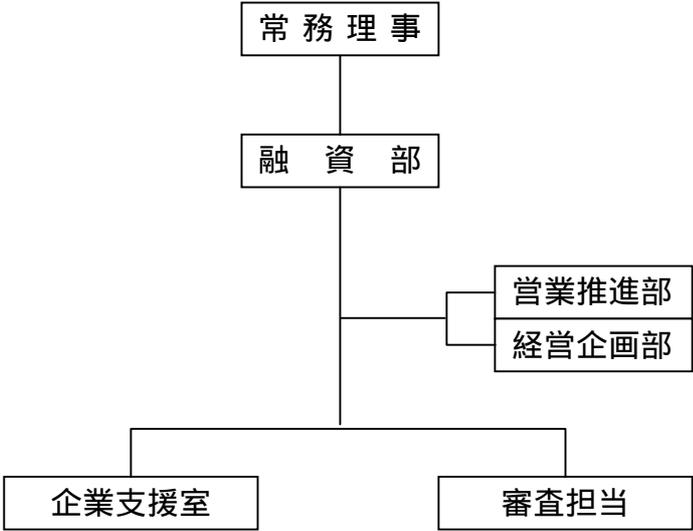


【アクションプログラムに基づく個別の取組み】

都留信用組合

項 目	<p>1. 事業再生・中小企業金融の円滑化 (2) 取引先企業に対する経営相談・支援機能等の強化 要請事項【その2】要注意先債権等の健全債権化等に向けた取組みの強化 要請事項【その3】健全債権化の強化に関する実績の公表等</p>																															
現状の分析及び評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大口与信先のキャッシュフローモニタリング強化と経営支援 部店長により大口与信先（30,000 千円以上）の定期的な訪問とヒヤリングを実施し、融資部と情報交換をするなど営業店・本部一体となって状況の把握や経営相談・支援に努めました。また、融資部企業支援室へ経営改善支援先を抽出し、面談、指導を重ね、「経営改善計画書」の策定とキャッシュフローのトレースを実施しました。 ・ 15、16 年度における営業店からの経営改善支援申請先の取組実績は下記の通りです。 経営改善支援の取組実績（15 年 4 月～17 年 3 月） <table border="1" data-bbox="638 1003 1380 1429" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>経営改善支援 取組先</th> <th>債務者区分の 上昇した先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">正 常 先</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">要 注 意 先</td> <td>うちその他要注意</td> <td>3 0</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>うち要管理先</td> <td>1 3</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td colspan="2">破綻懸念先</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">実質破綻先</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">破 綻 先</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td>5 1</td> <td>1 4</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 融資部、営業店が一体となった指導、支援により 14 件のランクアップが図られました。 ・ 運転資金融資に対しては、資金繰予定・実績表、受注工事一覧表等の作成指導、及び財務分析表からの指導を重ね、効果を上げていると認識しております。 ・ しかしながら、地域内の一部不況業種の業況を改善するまでには至っておらず、引き続き健全債権化等に強力的に取り組む必要があると認識しております。 ・ 上記健全債権化の強化に関する取組実績を、当組合ホームページ、ディスクロージャー誌等へ公表いたしませんでした。 			経営改善支援 取組先	債務者区分の 上昇した先	正 常 先		2		要 注 意 先	うちその他要注意	3 0	3	うち要管理先	1 3	8	破綻懸念先		2	0	実質破綻先		1	0	破 綻 先		3	3	合 計		5 1	1 4
		経営改善支援 取組先	債務者区分の 上昇した先																													
正 常 先		2																														
要 注 意 先	うちその他要注意	3 0	3																													
	うち要管理先	1 3	8																													
破綻懸念先		2	0																													
実質破綻先		1	0																													
破 綻 先		3	3																													
合 計		5 1	1 4																													

計画 (目標設定を含む)	取組方針 及び目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営支援先、大口与信先への継続訪問によるモニタリングを強化して、経営改善の早期着手を継続いたします。 ・ 外部専門家を含めた経営支援先の改善計画書の策定と経営指導により、必要に応じた資金援助も実行して、健全債権化を図ります。 ・ 要注意先等の健全債権化等の強化に関する実績数値の公表、及び取組実績を可能な限り公表いたします。 ・ 取組実績の公表方法について確立いたします。
	具体的取組策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 営業店、融資部による大口与信先への継続訪問によるキャッシュフロー、資金繰り表、受注状況表をモニタリングし、経営相談・支援に努めます。 ・ 営業店、融資部による経営支援先の改善計画書の策定と財務改善指導を推し進め、経営の健全化を図ります。 中小企業診断士、山梨県中小企業再生支援協議会等外部専門家による経営改善計画の実効性の検証を図る中で、設備投資等への融資も積極的に実施いたします。 ・ 当組合ホームページ上に、経営支援取組先数、ランクアップ先数、及び改善内容について半期毎に公表いたします。 ・ 公表内容のリーガルチェックについては、顧問弁護士に依頼いたします。
実施スケジュール	17年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大口与信先への訪問記録表を毎月本部へ提出し、本部・営業店一体となつてのキャッシュフローのモニタリングにより経営相談・支援に努めます。 特に、土木、建設関連の資金繰りに対しては、受注状況、工事管理等から検証いたします。 ・ 山梨県産業支援協議会と連携して、「経営支援先」に対する改善計画書に基づいた積極的な設備投資(融資)を実行いたします。 ・ 17年9月までにホームページへの実績公表フォーマットを作成いたします。 ・ 17年10月より、具体的改善状況を含めて、ホームページ上に実績を公表いたします。
	18年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大口与信先への訪問記録表を毎月本部へ提出し、本部・営業店一体となつてのキャッシュフローのモニタリングにより経営相談・支援に努めます。 ・ 要注意先等への改善計画の実施に向けて、商工会、信用保証協会、やまなし産業支援機構等と連携して強力な指導を実施いたします。 ・ 18年4月にホームページへの実績の公表内容を充実いたします。 ・ ディクローロージャー誌に、経営改善支援の取り組み実績を公表いたします。

	<p>(参考) 19年度以降</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大口与信先へのモニタリングを継続実施し、経営支援案件の抽出と指導を強力に推し進めます。 ・ 18年度に引き続き、経営改善支援状況の公表内容の充実を図り、継続実施いたします。
<p>推進態勢</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 業績評価基準に要注意先等の改善状況を融資部により評価する項目を設けます。 <p>推進統括部署 『融資部』 関連部署 『経営企画部』『営業推進部』 推進責任者 常務理事 責任者補佐 融資部長</p>  <pre> graph TD A[常務理事] --- B[融資部] B --- C[営業推進部] B --- D[経営企画部] B --- E[企業支援室] B --- F[審査担当] A --- E A --- F </pre>
<p>備考</p>		